

## 刊行の辞

大東文化大学経済研究所長 古屋 核

大東文化大学経済研究所は、経済学部附置の研究所として34年前（1987年）に設立され、研究報告書としての本誌も第34号の刊行を迎えることとなりました。

今年度（2020年度）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって経済シンポジウムが中止となり、対面形式でのセミナーなど、一部事業の縮小も余儀なくされました。シンポジウム報告論文を欠くなか、掲載原稿を十分確保できるか不安もありましたが、幸いにも論文3篇、研究ノート1篇の計4篇の寄稿を得て、今年度も『経済研究』を刊行できることとなりました。コロナ禍による様々な制約のなか、研究を進め、その成果を本誌にお寄せくださった執筆者の方々に心から感謝と敬意を表したいと思います。

2021年初頭現在、新型コロナウイルス収束の見通しは不透明であり、国内外の経済情勢は混沌の度合いを強めているように思われます。本研究所では、今後も社会の要請に応え、実のある研究事業を推進していきたいと考えています。皆様方の尚一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。